

地球環境を考え、様々な研究・支援活動に取り組んでいます。

環境保全



南港発電所 (ISO14001外部認証を取得)



マングローブの研究

CO₂の排出量の削減による地球温暖化の抑制や、循環型社会を実現するための様々な取り組みを通じて、地球環境の保全に取り組んでいます。



No. AT-03-001

当社がお届けする電力が「エコリーフ環境ラベル」を電力会社で初めて取得しました。これは、製品に関する定量的な環境負荷データについて第三者による認証を受け、開示するものです。



ブータン王国 小規模水力発電所建設プロジェクト

地球温暖化防止に向けた取り組み

関西電力は、地球温暖化問題に対応するため、発電時にCO₂を排出しない原子力発電の推進、火力発電の熱効率向上、火力発電所から出るCO₂を取り除く技術（排煙脱炭技術）の開発などさまざまな対策を推進しています。また、社会全体で効率よくエネルギーが利用されるよう、夜間電力を利用する氷蓄熱空調システム（エコ・アイス）や自然冷媒ヒートポンプ給湯機（エコキュート）などの高効率機器の普及・開発をすすめています。

一方、海外においては、タイでのマングローブの植林技術研究や西豪州における環境植林事業のほか、ブータン王国の未電化村に小規模水力発電を建設するCDM^(*)プロジェクトを通じて、CO₂削減に協力するとともに、中国の水力発電 CDM プロジェクトにも参加しています。

今後も地球温暖化の防止に向けて、国内外で総合的な対策を進めていきます。

(*) CDM：途上国と先進国が共同でCO₂削減に取り組む仕組み。その結果、生じた削減量を自国のCO₂排出量として分け合うことができる。

循環型社会への対応

関西電力は、循環型社会に適した事業活動を実現するため、3R活動（産業廃棄物等の発生抑制< Reduce >、再利用< Reuse >、リサイクル< Recycle >）に取り組み、事業全般にわたる廃棄物の減量・再資源化を推進しています。例えば、コンクリート電柱は全てリサイクルし、道路の材料として使用するほか、火力発電所で燃料として石炭を燃やした後に残る灰も、全てセメントの材料として使用しています。



太陽光発電パネル（南港発電所）

また、環境負荷の少ない製品・サービスを優先的に購入するグリーン購入やオフィスにおける省エネ・省資源活動を推進しています。



「関西グリーン電力基金」の助成による太鼓山風力発電所（事業主体・京都府）

「エコリーフ環境ラベル」の認証

関西電力がお客さまにお届けする電気は、「エコリーフ環境ラベル」の認証を取得しています。これは、製品における原材料の調達から使用・廃棄にいたるまでの一生にわたる定量的な環境データを第三者による検証を受けて登録・公開するもので、国内の電力会社で初めて取得したものです。

認証を受けている主な環境データである電気 1 kWhあたりのCO₂排出量は、地球温暖化防止に向け、総合的な対策を実施した結果、国内の電力会社の中で低いレベルに抑えています。